

KRC WEB REPORT

徒然想

急激に朝晩の冷え込みが激しくなり、秋らしくなってきました。週末の畑仕事に出ますと、周囲から聞こえてくるのは、心地良い虫の声。ついこの間までは蝉の大合唱だったはずなのに、あっという間に季節が変化していく実感があります。あんなに元気よく咲き誇っていたひまわりも、今やすっかり花としての役目を終えてたくさんの種をつけています。その代り、畑の傍らに植えられていたコスモスが綺麗に咲いています。そろそろビールと枝豆より、熱燗と湯豆腐もいいなあ、などと思う宵の口です。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

第2回 UAV 活用フォーラム(2016年11月21~22日)東京都大田区産業プラザ(Pio)のご案内

2016年11月21、22日の2日間、大田区産業プラザ(京急蒲田駅徒歩3分)において、「第2回 UAV 活用フォーラム」が開催されます。今回は「災害調査・救援、防災・減災への活用」がテーマとなっています。急速に普及し始めた UAV(無人航空機)が災害調査・救援、防災・減災の重要な役割を担い始めていること、災害防止としての社会インフラ土木構造物の維持管理、IT 活用による i-construction 技術が進歩してきたことなどの背景から、産官学のそれぞれの立場でのエキスパートの方による講演と、情報交換の場を提供します。

主催:(合)スパーポイントリサーチ、共催:(一社)日本写真測量学会、協賛:(公財)日本測量調査技術協会

【フォーラム「基調講演」の概要】

●基調講演 1:鈴木真二氏(東京大学 航空宇宙工学 教授)

「UAV は様々な民間産業利用への可能性が期待されている。こうした UAV の歴史とその機能を説明したのちに、防災用途に利用する際の技術的課題、制度的課題に関して今後の活動の指針も示したい。」

●基調講演 2:河田恵昭氏(関西大学社会安全学部・社会安全研究センター長・特別任命教授)

「災害多発時代に突入しているにもかかわらず、自治体などのファースト・レスポンドナーなどの対応能力は極めて低い。そうした対応が経験則に頼っており、情報の共有と見える化による組織としての対応が不十分である。UAV 活用を含めた IT によるシステム化が欠かせない。」

弊社は、21日開催のパネル 1「熊本災害への対応」で熊本地震で被災した熊本城の石垣を例に石垣などへの UAV、3D レーザを活用したモニタリングについて発表します。また、そのセッションでは総合司会を担当しており、(有)エアロサービス T.K.FACTORY 工藤氏、(株)四航コンサルタント 酒井氏、熊本県山都町 大津山氏、(株)建設技術研究所 荒牧氏に講演していただき、意見を交換します。

■大田区産業プラザ (Pio)



戌亥櫓の石垣崩壊 3D モデル
写真提供:熊本市

■参加ご希望の方

下記の会議案内(参加は有料です・協賛団体割引あり)を出力してご参加ください。

・第2回 UAV 活用フォーラム 案内 PDF

<http://spar.j.com/UAVapp/UAV2016/ChirasIB2.pdf>

弊社の HP でも紹介しておりますので、ぜひあわせてご覧ください。<http://www.krcnet.co.jp/topics/topics102.html>

(株)計測リサーチコンサルタント HP:<http://www.krcnet.co.jp> Mail:krc@krcnet.co.jp 問合せ:<http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>